

産 業 建 設 委 員 会

令和 5 年 1 月 26 日 (木)
午前 10 時 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】川上委員長、田畑副委員長

沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、佐々木ふるさと寄附推進室長、
岡田農林振興課普及支援担当課長、永見水産振興課長

(弥栄支所) 馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長

【事務局】大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) プレミアム付「はまだ応援チケット」の利用状況について 【商工労働課】
- (2) 「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について 【商工労働課】
- (3) ふるさと寄附について 【ふるさと寄附推進室】
- (4) 『有機野菜の産地づくりに関する連携協定』の締結について 【農林振興課】
- (5) 浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書締結について
【水産振興課】
- (6) ふるさと体験村の再開に係る取組状況について 【弥栄支所産業建設課】
- (7) その他

2 その他

3 行政視察について (委員間で協議)

4 一日議会で発言のあった課題の対応について (委員間で協議)

5 【取組課題】浜田市の現状と将来を見据えた一次産業の在り方について (委員間で協議)

プレミアム付「はまだ応援チケット」の利用状況について

(1) 第1弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の換金状況について（実績）

期間：令和4年5月28日（土）～9月4日（日）

総額：350,000,000円（50,000冊） 換金実績：348,149,500円 換金率99.5%

業種	換金額（円）	割合（%）	業種	換金額（円）	割合（%）
スーパー	100,471,500	28.9	製造・建設	2,986,000	0.8
飲食店	86,767,500	24.9	生花・種苗	2,576,000	0.7
飲食料品・コンビニエンスストア	48,231,500	13.9	タクシー・運転代行・バス	2,333,000	0.7
家具・生活用品	33,412,000	9.6	クリーニング	1,896,000	0.5
その他	17,966,500	5.2	貴金属・カメラ	1,365,500	0.4
家電・音楽用品	13,244,500	3.8	ギフト	1,260,500	0.4
車輻・ガソリンスタンド	11,193,000	3.2	ガス関連用品	1,125,000	0.3
衣料店・身の回り品	9,831,500	2.8	事務用品	278,000	0.1
理美容	8,797,500	2.5	合計	348,149,500	100.0
ホテル・旅館	4,414,000	1.3			

(2) 第2弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の換金状況について（12月末時点）

期間：令和4年10月12日（水）～令和5年1月31日（火）

総額：728,000,000円（104,000冊） 換金実績：597,675,500円 換金率82.1%

業種	換金額（円）	割合（%）	業種	換金額（円）	割合（%）
スーパー	208,890,500	35.0	ホテル・旅館	4,897,500	0.8
飲食店	110,217,500	18.4	生花・種苗	3,507,500	0.6
飲食料品・コンビニエンスストア	93,344,500	15.6	ギフト	2,738,500	0.5
家具・生活用品	47,476,500	7.9	クリーニング	2,523,500	0.4
その他	31,240,500	5.2	ガス関連用品	2,443,000	0.4
車輻・ガソリンスタンド	27,699,000	4.6	貴金属・カメラ	2,205,000	0.4
衣料店・身の回り品	20,165,000	3.4	製造・建設	1,209,500	0.2
家電・音楽用品	17,557,500	2.9	事務用品	324,000	0.1
理美容	15,894,000	2.7	合計	597,675,500	100.0
タクシー・運転代行・バス	5,342,000	0.9			

※チケット換金期限：令和5年2月17日（金）

「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について

1. 不動産売買契約について

12 月定例会議の補正予算で議決された「道の駅」ゆうひパーク浜田の取得について、次のとおり不動産売買契約を締結するよう相手方と調整していますので報告します。

今後、ゆうひパーク浜田株式会社との売買契約については、浜田市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例により、議会の議決を要するため、3 月議会の議案提出に向けて仮契約締結の準備をしているところです。

相手方	契約金額（税込）
ゆうひパーク浜田 株式会社	217,896,917 円
一般社団法人 中国建設弘済会	15,853,083 円
合 計	233,750,000 円

2. 今後のゆうひパーク浜田株式会社の事業計画について

ゆうひパーク浜田株式会社の事業計画について、向こう 3 年間のアクションプラン及び損益計画が次のとおり示されました。

今後、この計画をもとに、無償貸付に向けた準備を進めていくこととしています。

(1) アクションプラン

- ・経営体制の見直し・・・社外人材の登用は難しく、社内協議中
- ・テナント収入の獲得・・・オリゾンテ跡・五地想ピット跡の有効活用
- ・定期イベントの開催・・・毎月定期開催の生鮮市、他検討中 ほか

(2) 損益計画

(単位：千円)

	前期実績	今期見込み	R5 年度期	R6 年度期	R7 年度期
売 上 高	249,857	289,900	293,600	296,300	296,300
売 上 原 価	140,041	162,167	162,060	162,060	161,560
売上総利益	109,816	127,733	131,540	134,240	134,740
販売管理費	120,998	126,600	129,900	128,800	128,800
営 業 利 益	▲11,182	1,133	1,640	5,440	5,940
営業外収益	25,902	6,100	5,000	5,000	5,000
営業外費用	5,496	3,960	2,600	2,200	2,200
経 常 利 益	9,244	3,273	4,040	8,240	8,740
特 別 損 失	766	0	▲202,449	0	0
税引前利益	8,458	3,273	▲198,617	8,240	8,740
法 人 税 等	209	209	209	209	209
当 期 利 益	8,249	3,064	▲198,618	8,031	8,531
期中借入金返済額	0	0	200,754	4,440	7,800
期末借入金残高	411,583	411,583	210,829	206,389	198,589

○前提条件

- ・売上は R4/11 月実績と前年度 12 月以降実績を基に試算。
- ・テナントの入居による賃料収入を加味。
- ・現在の人員体制を維持することを想定。
- ・資産売却に伴う固定資産税及び国交省占用料の皆減。

ふるさと寄附について

1 【個人版】12月までの寄附額 10億8,207万円（対前年同月比97.8%）

○年度別実績及び累計額

令和3年12月31日現在

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	12月まで累計	合計
金額 (千円)	令和4	39,637	48,827	60,852	49,206	52,775	71,462	112,250	209,971	437,089	0	0	0	1,082,069	1,082,069
	対前年比	89.4%	98.7%	93.3%	83.5%	111.8%	89.3%	102.1%	105.1%	96.7%	0.0%	0.0%	0.0%	97.8%	87.3%
	3年	44,312	49,470	65,237	58,958	47,200	80,055	109,932	199,826	451,983	46,365	40,939	45,596	1,106,973	1,239,873
	2年	61,086	56,642	57,571	49,311	41,950	67,308	128,267	185,186	425,195	44,431	37,066	44,357	1,072,517	1,198,371
	1年	53,722	85,382	73,955	63,530	66,439	113,572	94,910	177,178	482,328	38,421	33,925	55,865	1,211,016	1,339,227
	30	51,934	55,525	72,785	53,658	54,714	83,315	147,303	213,115	527,318	47,755	48,591	59,085	1,259,667	1,415,098
件数 (件)	令和4	1,906	2,313	2,730	2,533	2,718	3,658	4,803	8,887	16,532	0	0	0	46,080	46,080
	対前年比	95.8%	102.5%	83.1%	92.4%	115.4%	99.0%	103.6%	111.5%	99.0%	0.0%	0.0%	0.0%	101.0%	89.1%
	3年	1,989	2,257	3,287	2,742	2,356	3,695	4,638	7,970	16,693	1,803	2,065	2,213	45,627	51,708
	2年	2,682	2,468	2,721	2,262	2,011	2,973	6,188	7,853	16,149	1,747	1,620	2,074	45,307	50,748
	1年	2,874	4,800	3,769	3,425	3,487	5,781	4,057	7,373	17,207	1,314	1,423	2,327	52,773	57,837
	30	2,350	2,719	3,018	3,095	2,839	4,266	7,174	10,015	25,113	2,093	2,592	3,038	60,589	68,312
使途	第1号 石見神楽等の伝統芸能の継承						321,191	29.7%	第5号 農林水産業等の地域産業の振興					94,087	8.7%
	第2号 自然環境並びに歴史的・文化的資源の保全・活用						134,473	12.4%	第6号 その他市長が必要と認める					159,928	14.8%
	第3号 高齢者福祉・障がい者福祉並びに地域医療の充実						97,174	9.0%	コロナに負けるな！浜田高校甲子園出場応援プロジェクト					2,536	0.2%
	第4号 青少年の健全育成・子供を安心して産み育てる環境づくり						272,680	25.2%	合計					1,082,069	100.0%

2 【企業版】12月までの寄附額 114万円（1件）

3 ふるさと寄附トピックス

寄附受付サイトを追加

11月1日から、ふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」に参加し、寄附受付を開始しました。



ふるさと納税はふるなび

企業版ふるさと納税Web募集開始

オンライン決済機能のある企業版ふるさと納税専用サイト「ふるさとコネクト」にプロジェクトページを公開し募集を開始しました。

▼「はまだ暮らし住まい支援プロジェクト」



▲「山村地域の木育推進プロジェクト」

年末・年始特別キャンペーンの実施

ポータルサイト「ふるさとチョイス」で初となる、自治体オリジナルキャンペーンに当市も参加し、3つのキャンペーンを実施しました。【応募期間】いずれも1/31まで



◆濱田市といえば「のどぐろ」と「あの！松永牧場の牛肉」プレゼント☆キャンペーン！

▶濱田市のクイズとアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、のどぐろまたは松永牛肉を合計80名様にプレゼント。



◆濱田市の特産品プレゼント・キャンペーン

▶対象の返礼品に寄附申し込みをされた方の中から抽選で合計60名様にプレゼント。



◆アルカリイオン水を飲んで「お魚カレンダー」をもらおう！

▶「金城の華」に寄附申し込みをされた先着100名様にプレゼント。
※カレンダー提供：浜田市水産業振興協会

4 特産品ランキング（令和4年4月1日～12月31日まで）

(1) 特産品カテゴリ別 寄附金額ランキング

(件、円)

順位	特産品カテゴリ	申込件数	寄附金額	
			合計	割合
1	のどぐろ関連	26,400	479,187,000	44.43%
2	水産物・水産加工品	6,478	207,211,000	19.21%
3	お米	3,262	102,915,000	9.54%
4	肉・卵・ぎょうざ	3,456	57,555,000	5.34%
5	飲料・コーヒー	2,900	48,201,000	4.47%
6	水産物鍋セット	2,689	44,963,000	4.17%
7	加工食品・料理	2,778	41,375,000	3.84%
8	あとからゆっくり特産品を選べるプラン	782	30,029,000	2.78%
9	関東・関西お食事プラン	362	15,770,000	1.46%
10	野菜、果物	1,212	14,620,000	1.36%
11	バラエティー定期便	166	10,933,000	1.01%
12	工芸品	89	9,520,000	0.88%
13	スイーツ・和菓子	512	6,394,000	0.59%
14	お酒	319	5,931,000	0.55%
15	レジャー・体験・宿泊	28	1,670,000	0.15%
16	石見神楽関連・グッズ	55	1,576,000	0.15%
17	その他	50	748,000	0.07%
合計		51,538	※ 1,078,598,000	100.00%

※特産品の申し込みがあった寄附金額となります。

(2) 特産品寄附金額ランキング（上位15品）

(件、円)

順位	特産品名	寄附金額	申込件数	受入寄附金額	
				合計	割合
1	のどぐろ一夜干し無添加個包装5枚「大人気セット」	15,000	8,570	128,550,000	11.92%
2	特大のどぐろ【一夜干し】	24,000	1,786	42,864,000	3.97%
3	のどぐろ干物（4～5枚 計600g）浜田港目利き工場長厳選	15,000	2,200	33,000,000	3.06%
4	こだわりの干物「特大のどぐろ一夜干し」（3～5尾）	30,000	938	28,140,000	2.61%
5	この男の目利き！～浜田の旨い鮮魚3回お届けコース～	80,000	317	25,360,000	2.35%
6	この男、極める！～浜田の旨い鮮魚12か月毎月お届けコース～	320,000	79	25,280,000	2.34%
7	活け込み本松葉蟹Cセット	70,000	330	23,100,000	2.14%
8	【新米】「匠のつや姫」（10kg×6回コース）	88,000	241	21,208,000	1.97%
9	活け込み本松葉蟹（タグ付き）Bセット	70,000	276	19,320,000	1.79%
10	絶品！旨とろ のどぐろ	10,000	1,609	16,090,000	1.49%
11	豪華！日本海産のサザエ・あわびセット	15,000	949	14,235,000	1.32%
12	「のどぐろ（超特大）」（3尾入）	24,000	524	12,576,000	1.17%
13	山陰浜田港 天然あんこう鍋セット3～4人前	13,000	888	11,544,000	1.07%
14	あとからゆっくり特産品を選べるプラン（10万円プラン）	100,000	115	11,500,000	1.07%
15	幻の高級魚「のどぐろ（鮮魚）」	36,000	319	11,484,000	1.06%

『有機野菜の産地づくりに関する連携協定』 の締結について



この度、島根県、楽天農業株式会社（以下「楽天農業」）、JAしまね、浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町（以下「石見9市町」）、は、島根県内での持続可能な有機野菜の産地づくりに取り組むことを目的に、有機農業に必要な人材育成、有機野菜の生産技術の確立・普及などの5項目について連携協定を締結しました。

高齢化等による農業人口の減少、それに伴う技術継承の問題や遊休農地の増加などが懸念される県内農業において、生産活動や人材育成に連携して取り組むことで、有機農業の生産拡大・産地化を目指します。

浜田市においては、令和5年度から金城町の約10haの農地でさつまいもを栽培される予定です。

1 有機野菜の産地づくりに関する連携協定の主な内容

- (1) 有機野菜産地の持続・発展に必要な人材育成に関すること
- (2) 有機野菜の生産技術の確立・普及に関すること
- (3) 有機野菜の生産に必要な苗等の資材供給に関すること
- (4) 遊休農地などの耕作放棄地の解消に関すること
- (5) 有機野菜の加工・流通・販売に関すること

2 連携協定締結日

令和4年12月26日（月）

3 役割

島根県：栽培技術等の確立・普及、人材育成（農林大学校）
楽天農業：農地再生、有機野菜の生産・加工・販売、人材育成
JAしまね：苗や資材の供給
石見9市町：農地の提供、生産者支援

浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書締結について

1. 経緯

H31(2019)/3/12	マルハニチロ(株)と共同研究協定書締結 目的)市とマルハニチロ(株)が協力して、瀬戸ヶ島埋立地における地下海水を活用した陸上養殖の可能性を探る。
R元(2019)/5月～9月	マルハニチロ(株)の要望に基づき、地下水試掘調査実施 発注者)島根県浜田水産事務所 内容)瀬戸ヶ島埋立地(県有地)において、海水井戸の開発有望箇所を選定し、選定箇所を試掘・揚水し、地下海水の水温・水質・水量等を把握する。
R元(2019)/10月～	マルハニチロ(株)に試掘調査結果の報告 ⇒マルハニチロ(株)が調査結果を受け、有効利用の検討に着手。試験計画書の作成に取りかかる。
令和2(2020)年～	新型コロナウイルスの影響が深刻となり、まずは自社事業の再建優先のため、試験計画の検討は中断。
令和4(2022)/9/22	マルハニチロ(株)より共同研究協定の解除の申し入れ。
令和4(2022)/10/20	市長が、マルハニチロ(株)に訪問。 ⇒引き続き、共同での養殖事業等の水産事業の可能性調査・研究を申し入れる。 先方より「検討する」と回答。
令和5(2022)/1/19	市長が、マルハニチロ(株)に訪問。 ⇒先方より、浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究を行うことの詳細を得る。 改めて、令和5(2023)年度より、協定を締結し、共同で調査・研究を実施することで合意。

2. 「浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書」概要

- (1) 目的 マルハニチロ(株)と浜田市が共同し、浜田漁港周辺における養殖事業等の水産事業の可能性を探るための調査・研究を実施することを目的とする。
- (2) 調査・研究内容
 - ①浜田漁港周辺海域等における養殖事業(海面、陸上)に必要な環境、立地及び養殖可能な魚種等についての調査・研究
 - ②浜田漁港発展に資する水産事業についての調査・研究
 - ③その他必要と認める調査・研究
- (3) 協定有効期間 協定締結の日(令和5年4月を予定)から令和7年3月31日まで

3. 事業費

令和5年度当初予算として、調査費用を3月議会に上程する。

ふるさと体験村の再開に係る取組状況について

ふるさと体験村の再開に係る取組状況について、下記のとおり報告します。

1 施設改修工事の進捗状況について（1月20日現在）

- (1) 里山（事務所）、古民家（桑田・箸立）、屋外トイレ・・・完了
- (2) 電気設備（幹線）・・・完了
- (3) 井戸・浄化槽、ログハウス（漏水）・・・2月下旬完了予定

2 地元検討状況等について

(1) 検討状況

令和5年1月15日 第1回商品・サービス設計会議
(モニターツアー、特産品販売、事業計画の検討)



(2) 事業計画概要について

別添資料のとおり

(3) 今後の予定

令和5年2月 施設改修工事完了
試運転・指定管理業務引継ぎ開始
モニターツアー実施（体験・宿泊・飲食・販売の試行）
事業計画ブラッシュアップ完了

令和5年3月 ホームページ立上げ・予約受付開始
ビジョンマップ成果報告会
指定管理業務引継ぎ完了

令和5年4月 施設再開 ※ゴールデンウィークからの本格稼働を予定

事業計画概要

ふるさと体験村

令和5年1月

弥栄のみらい創造会議

VISION

「CONVENTION VILLAGE弥栄構想（CV弥栄）」では、現代の都市社会が農村に対して求めている「本物の食物の提供、人間性回復機能としての自然、巨大な教育装置としての営みをふるさと」として、可能性を農村に求め、以下のことを、その条件としています。

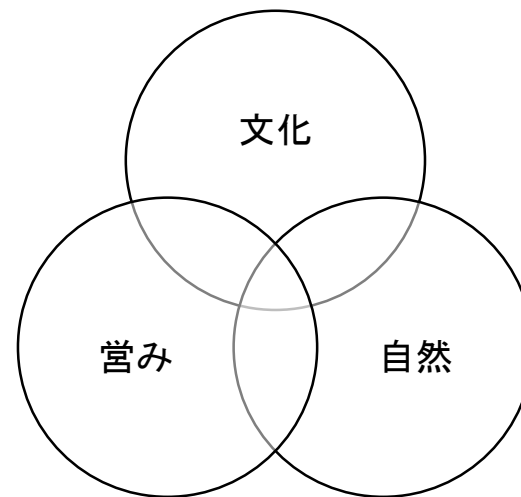
- 弥栄の自然と生活を基礎とし、農村体験等を通じて都市との異文化交流を図り生きた情報の収集と人のつながりを深めること[文化]
- 地域資源の付加価値を高め、行政、住民が一体となったまちづくりの展開により地場産業の活性化を目指す[自然]
- 弥栄の営みが外部の人を引き付ける特定情報として、消費者指向に影響を与える程の食文化情報を発信していく[営み]

コンセプトは「弥栄のふつう」

- 弥栄の平均、水準として、その傾きが見られること
- 弥栄で一般にそう考えられていること
- 弥栄の同類の多くがそうであるのと同じ程度

弥栄のふつうの価値観ができるまでに
文化と自然と営みが影響している

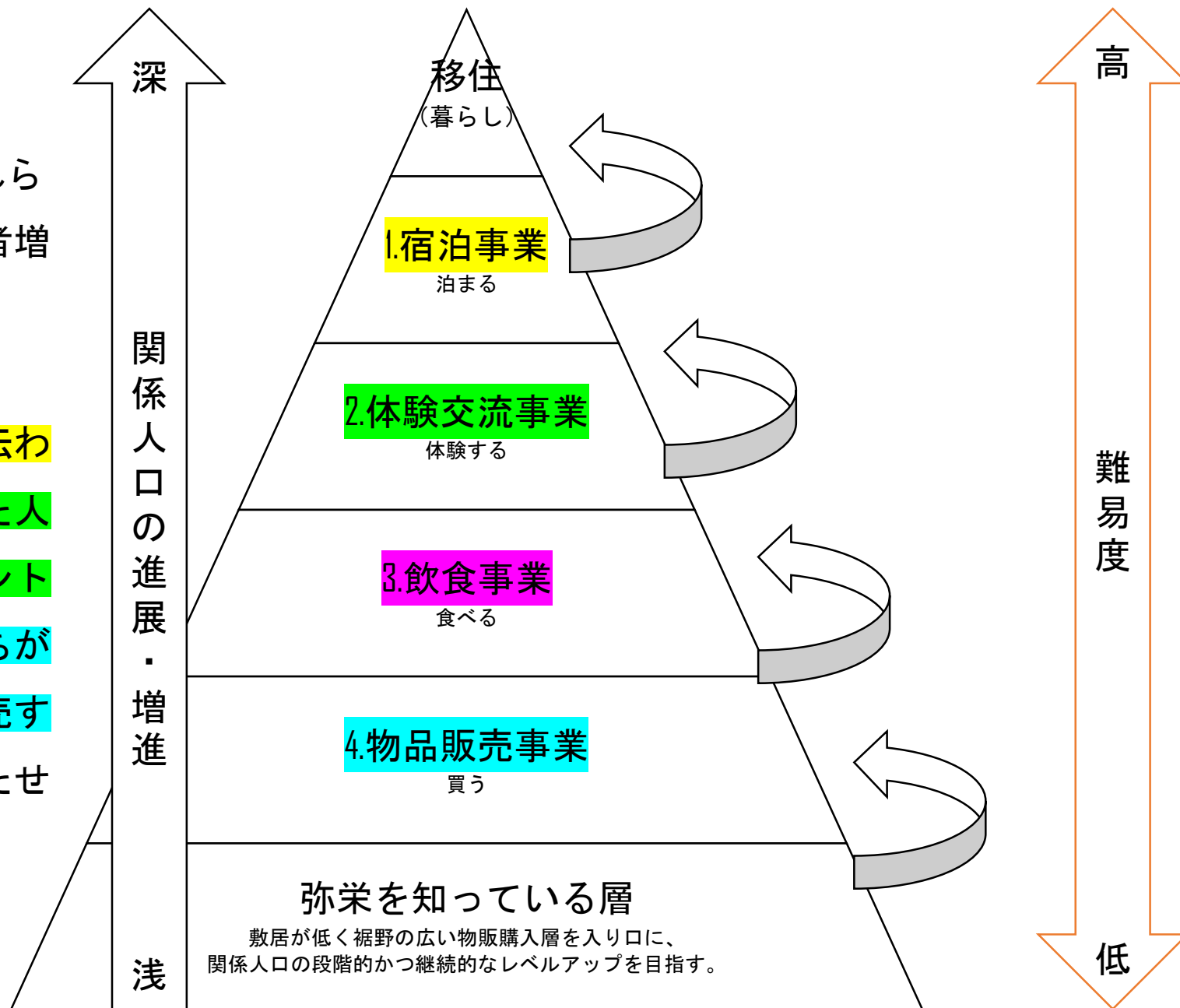
CV弥栄



PROJECT

令和5年度に実施する事業は4つ。これらの事業を通して関係人口創出、移住者増加を目指す。

弥栄の暮らしを核として、暮らしが伝わる宿泊作りから始めて、その宿泊した人が喜ぶ（あるいは体験したい）イベント等を作り、食文化を伝え、その人たちが買って帰りたくなるような商品を販売する。事業全体に関連性と統一感を持たせる。



全事業の営業日（基本型）

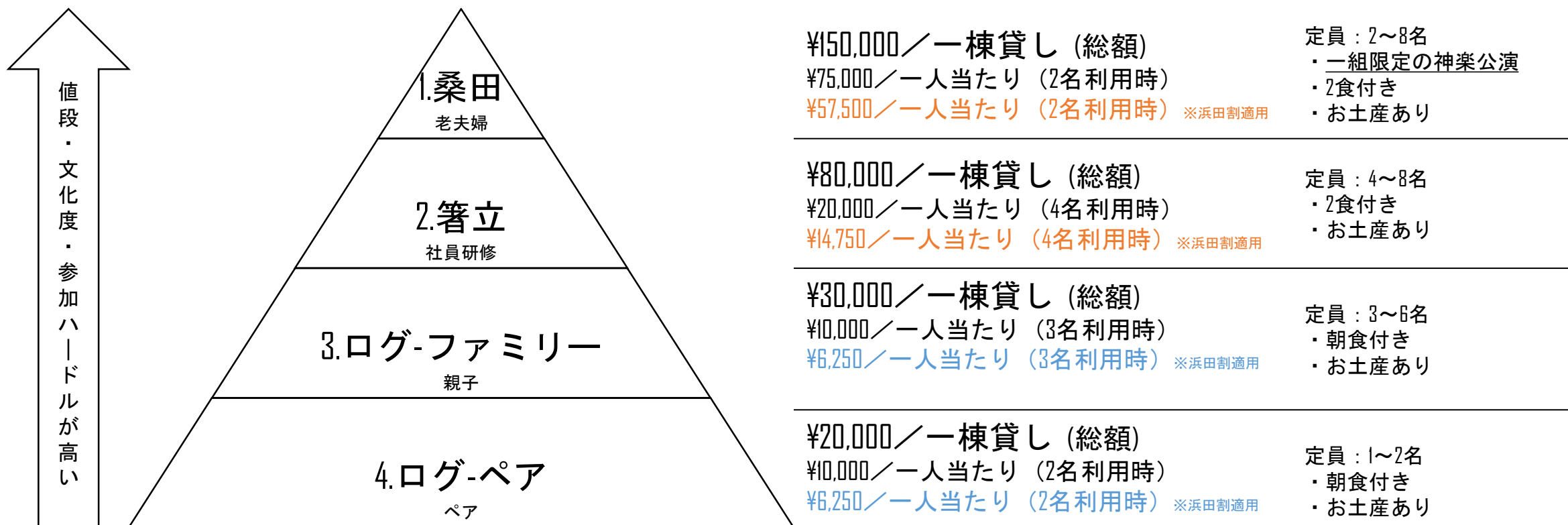
※初年度の基本型です。2、3年目は稼働日も人員体制も増やすイメージです。

※繁忙期は営業日を増やします。

	月	火	水	木	金	土	日
	営業準備	休館日	休館日	営業準備	営業	営業	営業
1.宿泊事業	チェックアウトまで				予約受付	予約受付	予約受付
2.体験交流事業					—	イベント	イベント
3.飲食事業					ディナーのみ 18:00-21:00	通常営業 12:00-21:00	通常営業 12:00-21:00
4.物品販売事業	ECのみ	ECのみ	ECのみ	ECのみ	EC・店頭	EC・店頭	EC・店頭
マネージャー	稼働 準備・片付け	休日	休日	稼働 準備・WEB管理	稼働 営業	稼働 営業	稼働 営業
パート（宿泊）	ルームメイク	休日	休日	休日	休日	ルームメイク	ルームメイク
パート（飲食）	休日	休日	休日	休日	仕込み・営業	営業	営業

1. 宿泊事業について

古民家2棟・ログハウス2種類あり、それぞれに特色を付ける。初年度はオペレーションや運営体制の確立を目指すことから「売上<稼働率」とし、ログの単価を低めに設定する。さらに活動再開・取組の認知向上のため**浜田市在住の方は部屋代の50%割引**を行い、地域の声を集め、地域に必要とされる取り組みを目指す。



2.体験交流事業について

体験メニューが集客コンテンツになるよう、毎週実施する。体験メニューは、旧体制時のものをリニューアル・磨き上げを行い、地域に馴染みつつも新鮮さが感じられる内容にする。ふれあい学校、田植え・稲刈りツアー、猟師さんから聞くいのちの循環の話、水源の地といった環境を活かした学びの要素のある体験メニューを通じて、地域愛を育む。



1

お祭り

春祭りなどのお祭りを開催します。

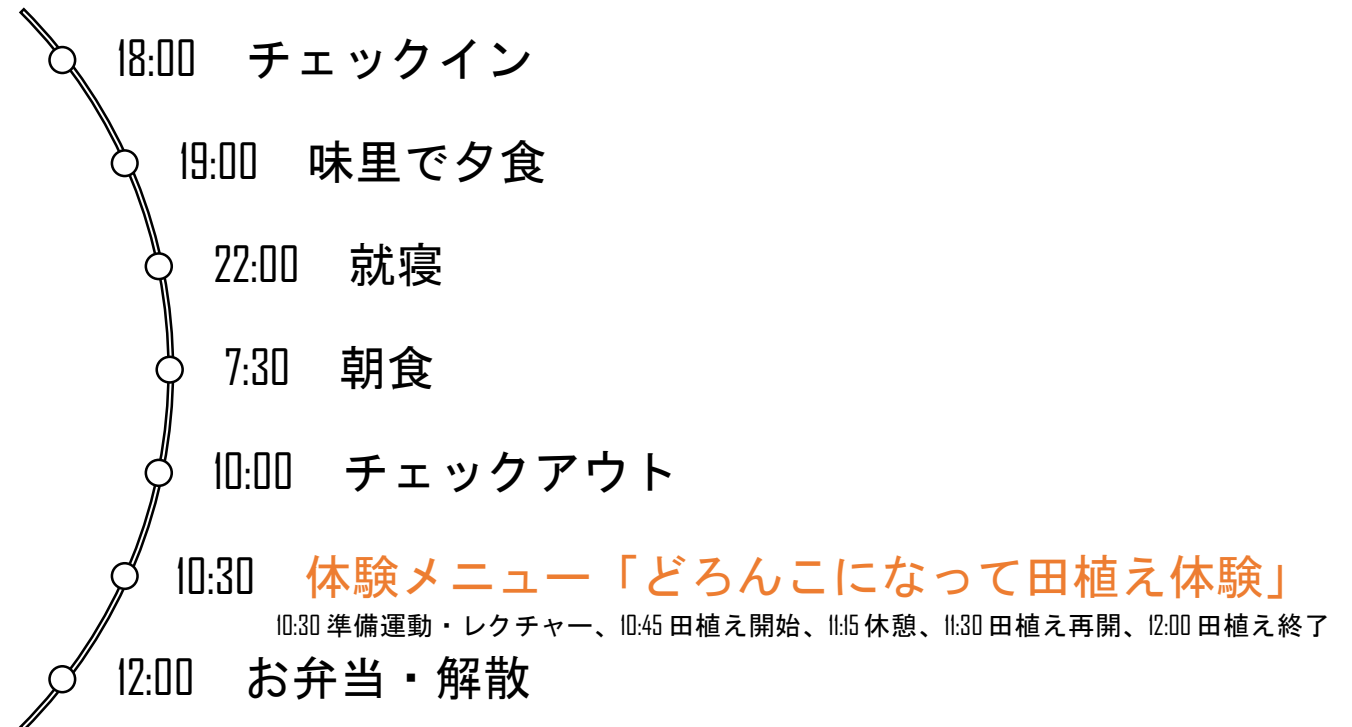


2

体験メニュー

1-2時間の体験メニューを実施。日帰りでも参加可能。ハイキング、木工教室、味噌作り、野菜の収穫などを想定。

体験メニューの流れ（夕方チェックインの場合）



3. 飲食事業について

宿泊予約と連動して営業することで、効率的な集客を見込む。また全事業の出勤するスタッフの曜日を集中させることにより、飲食事業のヘルプに入りやすい体制を作る。



1

味里の営業

週末のランチ・喫茶・
ディナータイムを営業



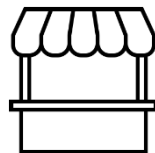
2

宿泊客の朝食対応

ログ宿泊客の朝食対応。
チェックインまでにログ
の冷蔵庫へ翌朝の朝食分
のサラダ・パンなどを用
意する。

4. 物品販売事業について

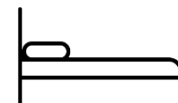
弥栄の産品を販売する事業。



1

店頭販売（味里）

飲食事業で使っている
味噌や器などの販売を
店頭で行うことで、飲食
事業と連動した売上向上
を目指す。



2

お土産代込みの宿泊料金

宿泊されたお客様の宿泊
料金にあらかじめお土産
代を含ませることで、「弥
栄の産品」を持って帰っ
てもらうことを仕組み
化する。



3

ECサイト

ECサイトを構築すること
で、営業日や立地・季節
に左右されない販売体制
を目指す。
「Made in YASAKA」のセ
レクトショップをイメージ。



4

ふるさと納税

5.どぶろく事業について

令和5年度は地域内のどぶろくの販売を始め、将来的には「弥盛」の復活を目指す。

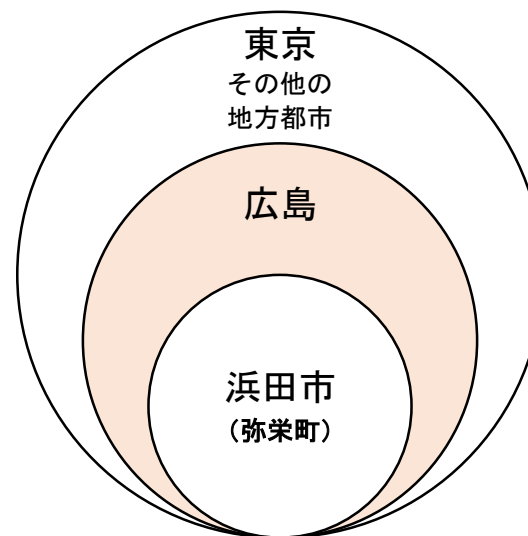
1年目 飲食事業でどぶろくを販売
 体験村のどぶろくのイメージを守る

2年目 物品販売事業でどぶろくを販売

3年目 弥盛の販売を再開

ターゲット

浜田市を中心に広島、そして東京・大阪といった都市部をターゲットに設定。コアターゲットの浜田市は、浜田市民割を実施し認知向上を目指す。

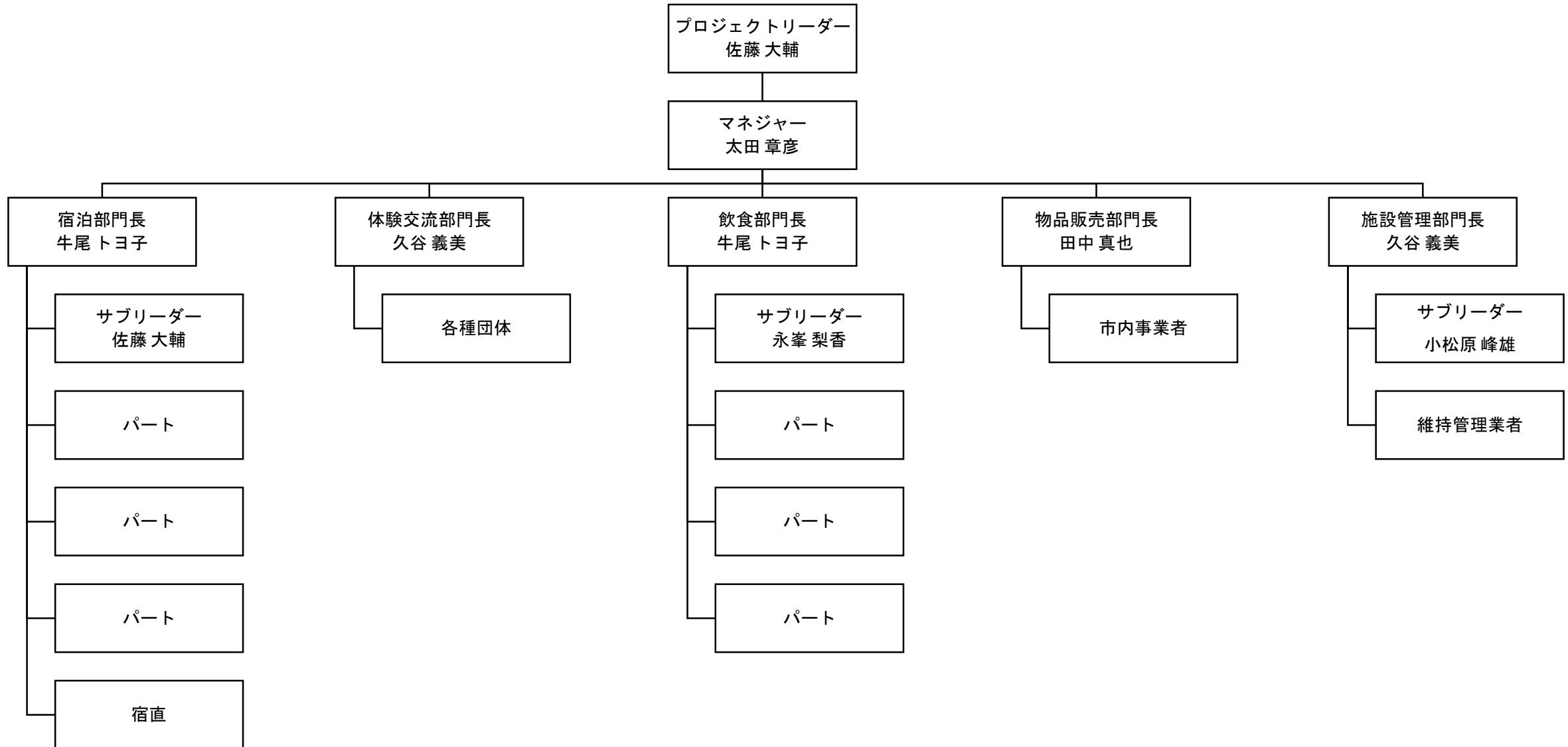


施設	イメージ
桑田	老夫婦
箸立	社員研修
ログ-ファミリー	親子
ログ-ペア	ペア

集客について

- ・旧体制時に活用していただいていたお客様に再開したことをアナウンス
- ・旧体制時に情報発信を協力していただいていた業者さんに再開したことをアナウンス
- ・やさか共同農場さんや秘境奥島根さん等の弥栄の業者さんのイベントを体験村で実施
- ・メインターゲットの広島の広島PRセンターに協力依頼
- ・県立大学の学生と、学びの要素を含んだ体験交流メニューを作成
- ・OTA（Online Travel Agent）に情報掲載（じゃらん・楽天トラベル等）
- ・浜田市ふるさと体験村施設利活用庁内連絡会議と連携
- ・浜田市内の小中学校に告知

体制 (R5)



漁業別水揚げについて（報告）

〈令和4年12月〉

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.1
産業経済部水産振興課

◆全体状況◆ 水揚量：576トン（前年比：74%、-199トン） 水揚金額：3億7,090万円（前年比：111%、+3,610万円）

【地元沖合底びき網漁業】水揚量：265トン（前年比95%、-14トン）
水揚金額：1億8,989万円（前年比118%、+2,913万円）

☆ノドグロ（メッキン除く）

〈R3.12〉1.6トン・平均単価4,909円/kg ⇒ 〈R4.12〉0.6トン・平均単価8,513円/kg

☆マダイ

〈R3.12〉12トン・平均単価830円/kg ⇒ 〈R4.12〉15トン・平均単価1,372円/kg

☆アンコウ

〈R3.12〉15トン・平均単価1,091円/kg ⇒ 〈R4.12〉20トン・平均単価1,396円/kg

☆レンコダイ

〈R3.12〉50トン・平均単価244円/kg ⇒ 〈R4.12〉64トン・平均単価336円/kg

◆昨年同月よりノドグロ（メッキン除く）の水揚げが減少したが、マダイ・アンコウ・レンコダイの水揚げが増加したため全体水揚金額は増加した。

【地元中型まき網漁業】水揚量：54トン（前年比38%、-89トン）
水揚金額：2,087万円（前年比79%、-551万円）

☆マアジ

〈R3.12〉63トン・平均単価262円/kg ⇒ 〈R4.12〉47トン・平均単価418円/kg

☆マサバ

〈R3.12〉67トン・平均単価101円/kg ⇒ 〈R4.12〉5.8トン・平均単価83円/kg

☆ブリ

〈R3.12〉4.1トン・平均単価197円/kg ⇒ 〈R4.12〉0.1トン・平均単価567円/kg

◆昨年同月よりマアジの水揚金額は増加したが、マサバ・ブリの水揚げが減少したため全体水揚量、金額ともに減少した。

【大中型まき網漁業】水揚量：239トン（前年比75%、トン、-81トン）
水揚金額8,927万円（前年比102%、+198万円）

☆ブリ

〈R3.12〉128トン・平均単価314円/kg ⇒ 〈R4.12〉7.9トン・平均単価959円/kg

☆マアジ

〈R3.12〉75トン・平均単価290円/kg ⇒ 〈R4.12〉170トン・平均単価370円/kg

☆カマス

〈R3.12〉0.6トン・平均単価305円/kg ⇒ 〈R4.12〉18トン・平均単価497円/kg

◆昨年同月よりブリの水揚げが減少したがマアジ・カマスの水揚げが増加したため全体水揚金額は増加した。

【小型いか釣（5t以上）】水揚量：0.09トン（前年比14%、トン、-0.6トン）
水揚金額33万円（前年比21%、-129万円）

☆スルメイカ

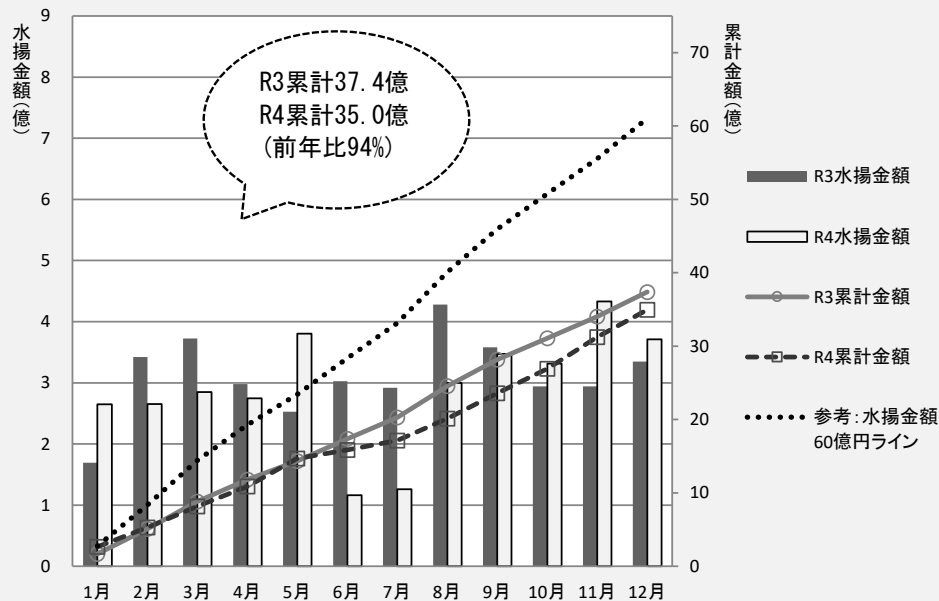
〈R3.12〉0.006トン・平均単価720円/kg ⇒ 〈R4.12〉0トン

☆ケンサキイカ

〈R3.12〉0.5トン・平均単価2,735円/kg ⇒ 〈R4.12〉0.08トン・平均単価3,766円/kg

◆昨年同月よりスルメイカ・ケンサキイカの水揚げが減少したため、全体水揚量、金額ともに減少した。

R3・R4 水揚金額



令和3年 令和4年 漁業別水揚げ比較表

12月

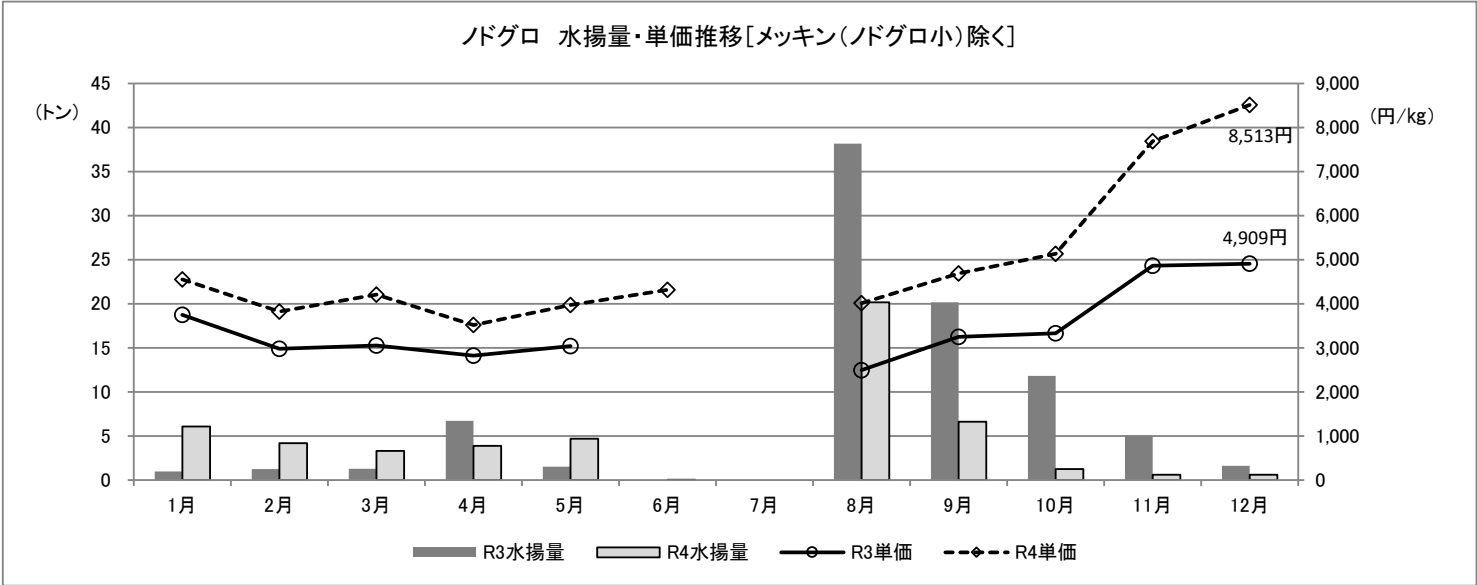
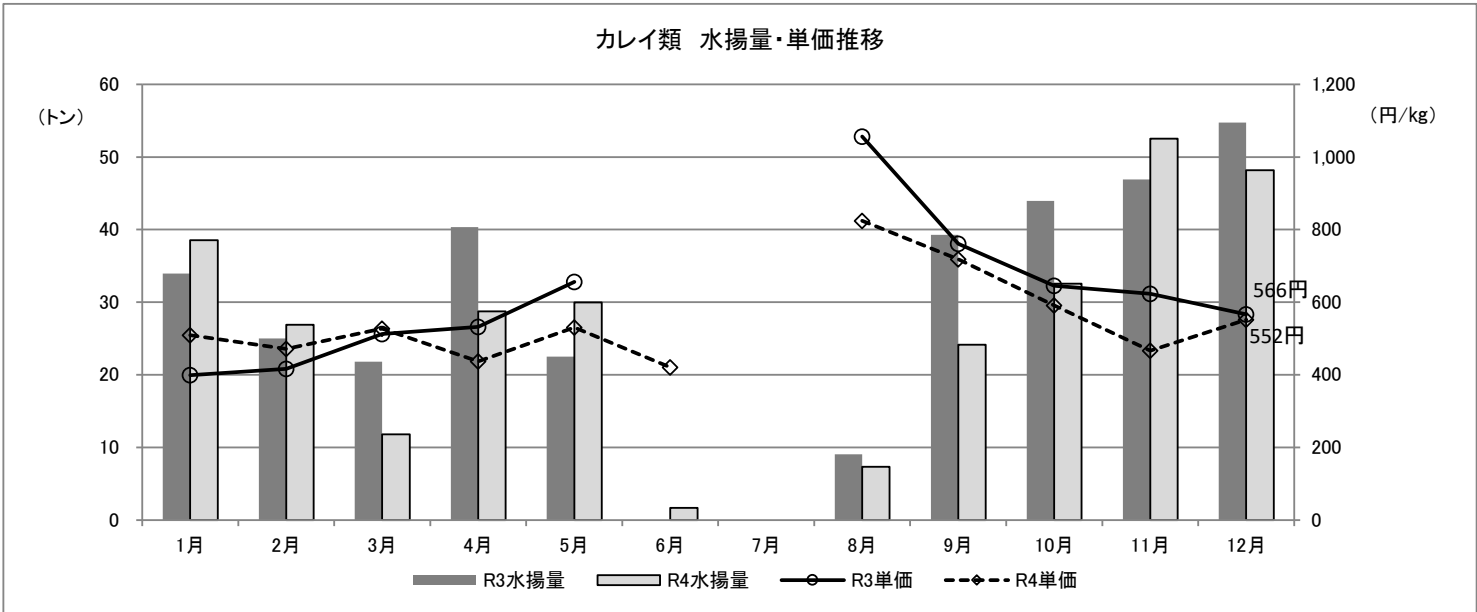
1月～12月累計

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.2
産業経済部水産振興課

漁業種類	年	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
01 沖合底曳網(地元船)	3	279,011.5	94.9	148,851,532	118.1	160,759,693
	4	264,799.0		175,821,189		189,886,914
02 沖合底曳網(地元外)	3	0.0	-	0	-	0
	4	0.0		0		0
03 小型底曳網	3	0.0	-	0	-	0
	4	0.0		0		0
04 大中型旋網	3	320,010.0	74.7	80,823,992	102.3	87,289,911
	4	239,177.0		82,656,399		89,268,908
05 中型旋網(地元船)	3	143,028.9	38.1	24,420,082	79.1	26,373,687
	4	54,431.9		19,321,200		20,866,895
06 中型旋網(地元外)	3	0.0	0.0	0	0.0	0
	4	0.0		0		0
07 小型いか釣(5t以上)	3	657.0	14.2	1,498,050	20.5	1,617,894
	4	93.0		307,800		332,424
08 いか釣(5t未満)	3	236.0	5.1	560,900	6.2	605,772
	4	12.0		34,700		37,476
09 大型定置網	3	9,028.3	33.8	1,686,515	79.8	1,821,437
	4	3,054.4		1,345,500		1,453,141
10 小型定置網	3	0.0	-	0	-	0
	4	0.0		0		0
11 いら網	3	0.0	-	0	-	0
	4	0.0		0		0
12 一本釣(浜田)	3	1,223.4	80.3	4,916,130	147.5	5,309,421
	4	982.7		7,250,330		7,830,358
13 一本釣(国府)	3	545.3	32.6	2,254,730	60.8	2,435,106
	4	177.9		1,371,940		1,481,696
14 一本釣(長浜)	3	1,147.1	45.2	1,783,860	41.8	1,926,569
	4	518.3		745,060		804,665
15 一本釣(津摩)	3	677.4	12.0	805,620	33.2	870,068
	4	81.3		267,200		288,576
16 一本釣(三隅)	3	972.0	2.9	411,660	2.0	444,596
	4	28.4		8,200		8,856
17 一本釣(江津)	3	631.5	101.5	814,110	109.3	879,239
	4	641.2		890,090		961,297
18 近隣支所	3	84.0	902.4	110,120	571.5	118,930
	4	758.0		629,360		679,709
19 その他	3	74.5	44.3	72,940	56.1	78,776
	4	33.0		40,920		44,194
20 陸送	3	17,275.4	62.8	40,989,565	128.7	44,268,731
	4	10,848.7		52,734,323		56,953,068
合計	3	774,602.3	74.3	309,999,806	110.8	334,799,830
	4	575,636.8		343,424,211		370,898,177
前年との増減		-198,965.5		33,424,405		36,098,347

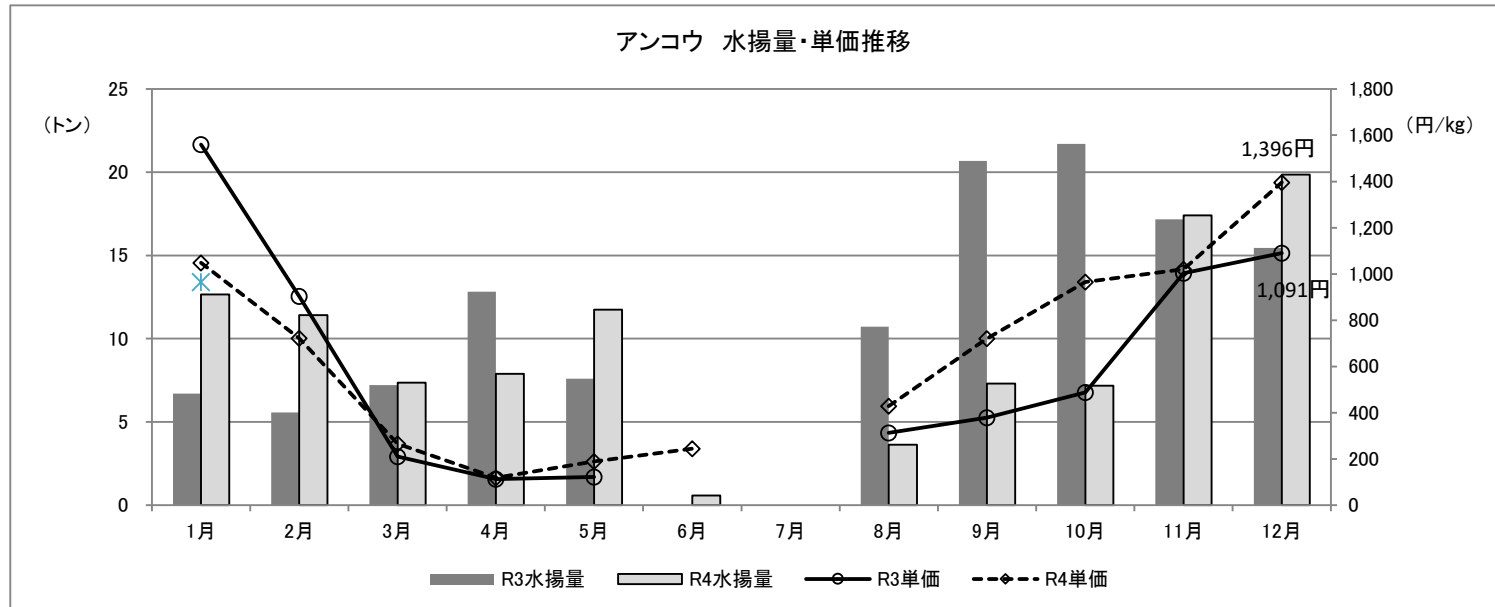
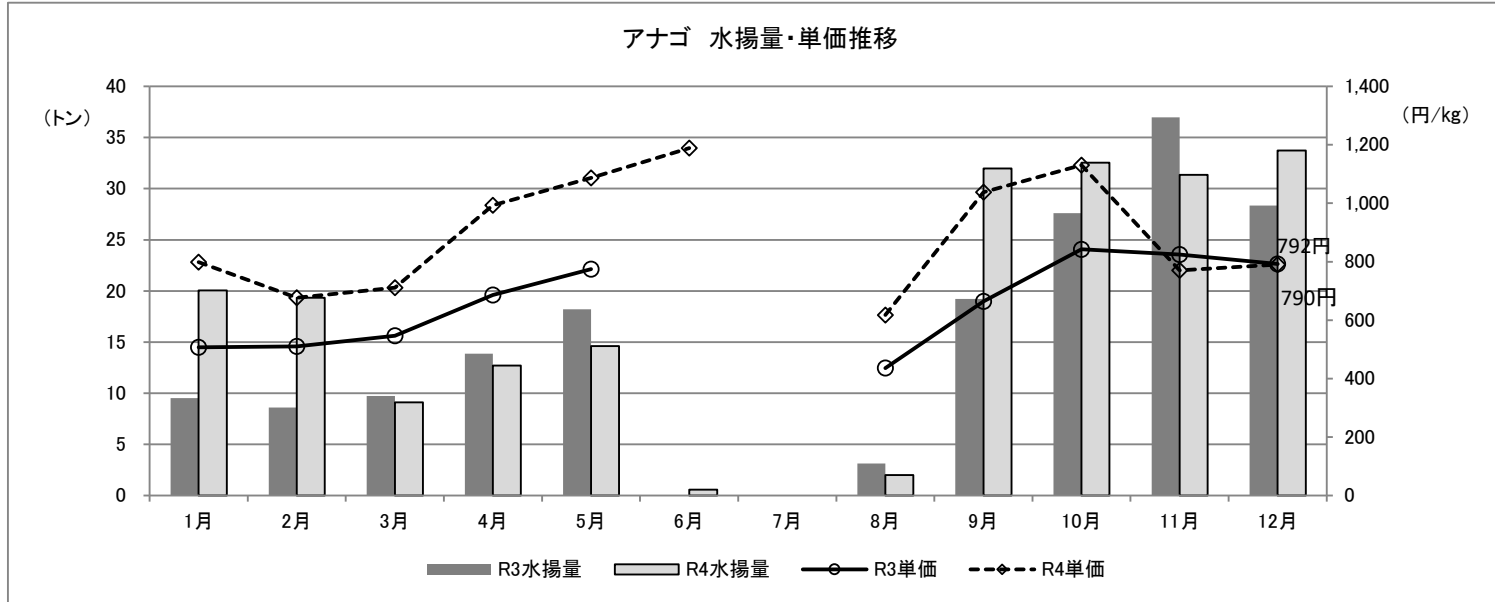
数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
2,394,136.9	96.9	1,390,364,015	104.7	1,501,593,514
2,321,006.2		1,455,595,320		1,572,043,314
0.0	-	0	-	0
0.0		0		0
0.0	-	0	-	0
0.0		0		0
3,784,907.0	106.5	568,905,772	110.7	614,418,243
4,029,116.0		629,971,495		680,369,210
2,440,838.4	84.0	386,446,962	94.0	417,362,703
2,049,494.0		363,208,519		392,265,193
2,660,708.5	38.1	482,221,828	43.4	520,799,577
1,014,470.0		209,063,544		225,788,626
152,052.0	63.9	127,116,240	51.3	137,285,545
97,221.0		65,237,500		70,456,509
3,577.0	160.1	5,361,310	87.0	5,790,215
5,726.0		4,666,920		5,040,273
282,009.6	112.1	60,304,836	148.9	65,129,232
316,093.8		89,785,546		96,968,418
15,028.5	162.5	3,269,933	213.0	3,531,530
24,427.9		6,966,380		7,523,689
0.0	-	0	-	0
0.0		0		0
48,289.4	154.3	35,393,648	161.2	38,225,137
74,523.9		57,055,881		61,620,361
19,233.7	138.3	15,678,813	104.5	16,933,127
26,604.1		16,387,729		17,698,756
18,584.8	85.6	16,731,762	113.3	18,070,325
15,900.1		18,964,985		20,482,191
10,994.3	72.0	12,477,255	86.7	13,475,434
7,917.2		10,820,654		11,686,305
19,293.7	61.8	13,145,785	87.3	14,197,459
11,931.5		11,481,000		12,399,494
38,967.9	127.5	22,732,649	132.7	24,551,300
49,703.4		30,165,496		32,578,765
26,738.6	77.4	15,955,937	100.9	17,232,421
20,687.4		16,105,471		17,393,914
2,730.2	88.2	2,461,452	120.7	2,658,371
2,407.7		2,972,106		3,209,873
187,809.8	62.1	302,919,416	81.8	327,153,024
116,687.6		247,675,749		267,489,818
12,105,900.3	84.1	3,461,487,613	93.5	3,738,407,157
10,183,917.8		3,236,124,295		3,495,014,709
-1,921,982.5		-225,363,318		-243,392,448

地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移



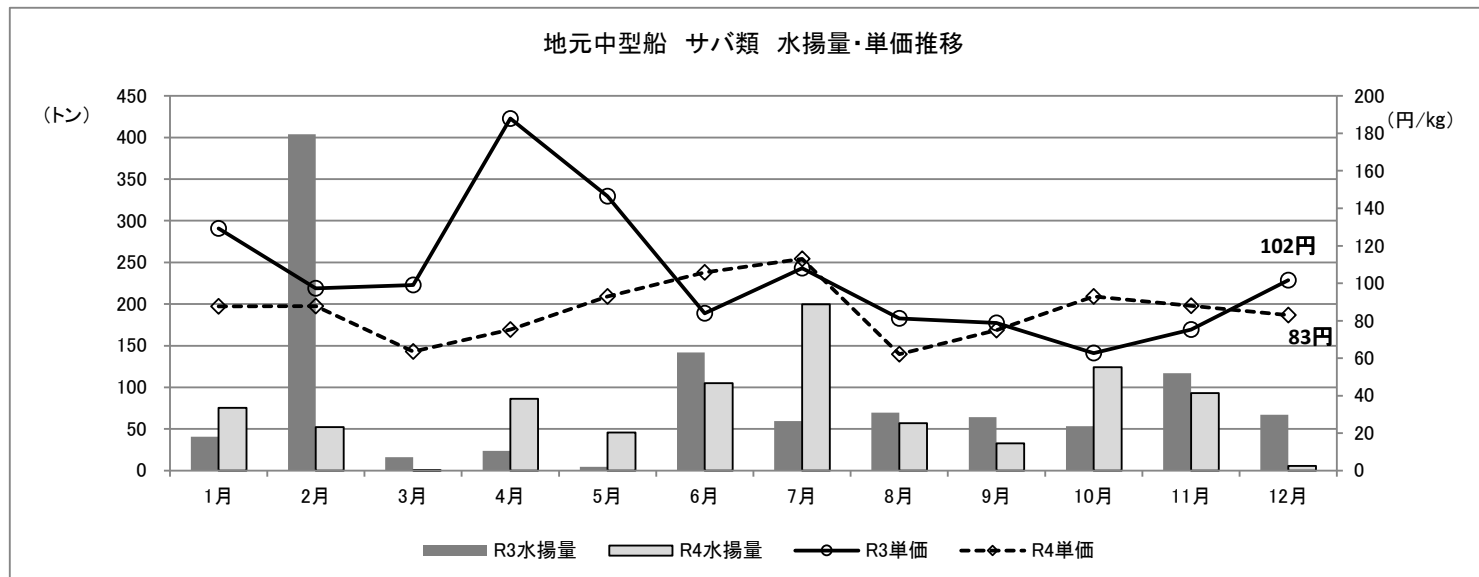
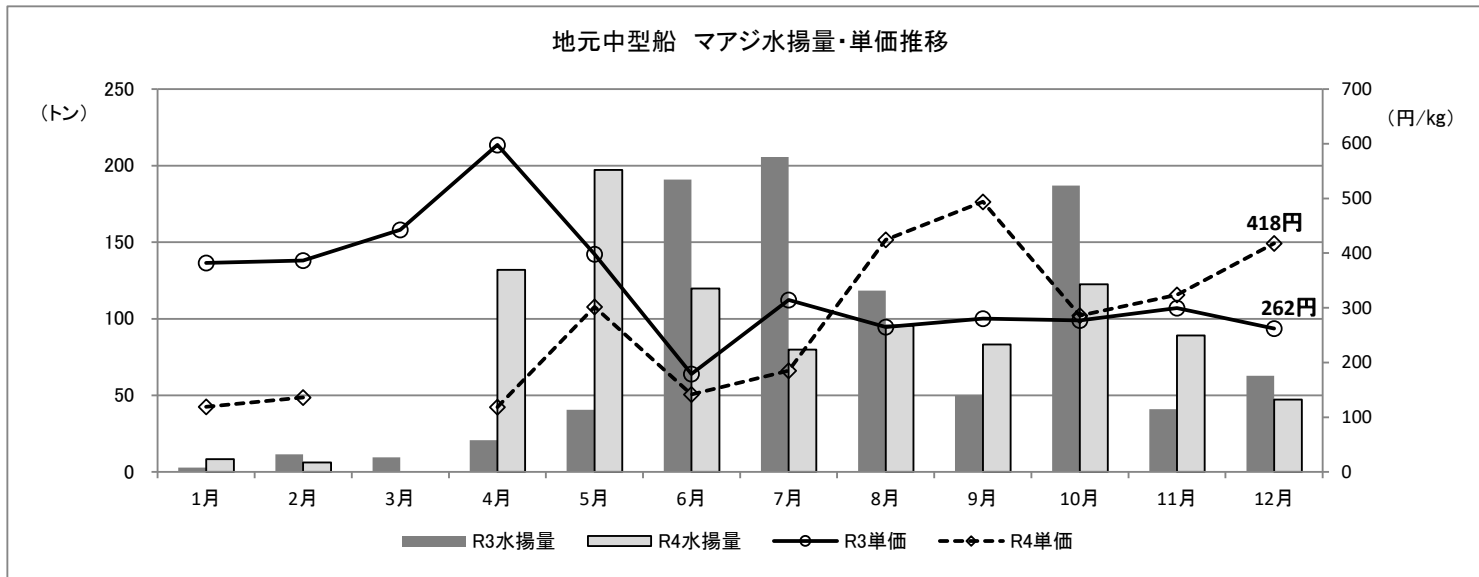
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.4
産業経済部水産振興課



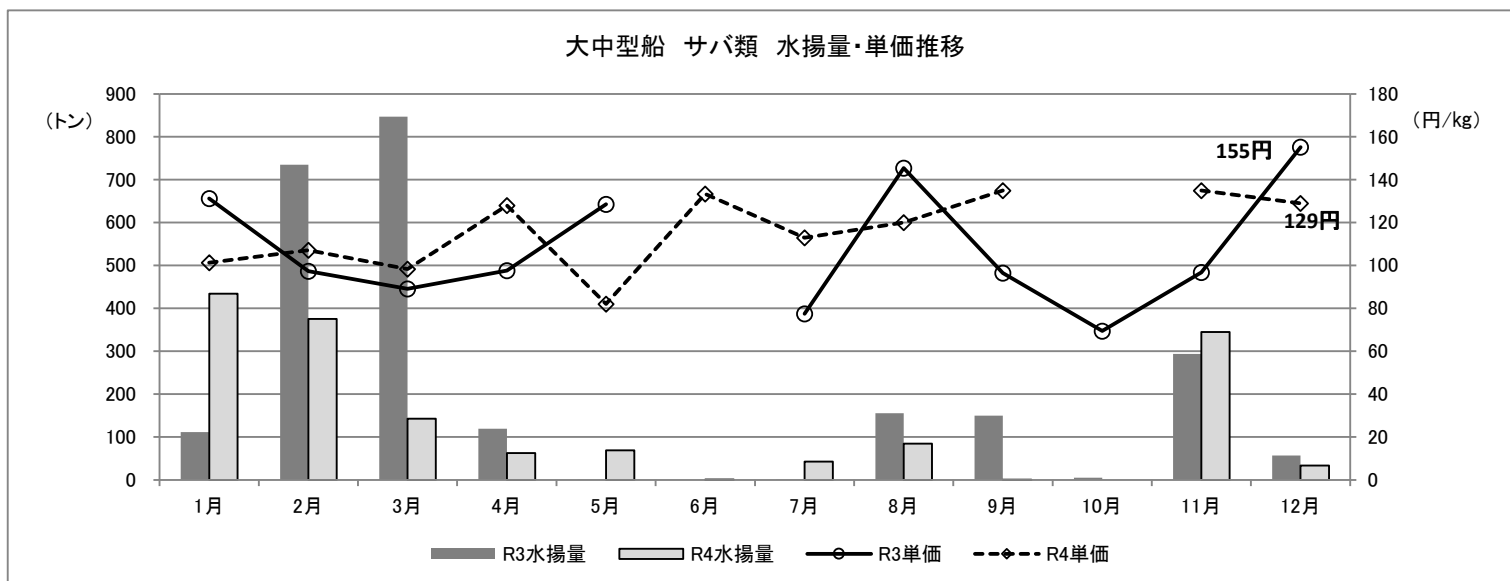
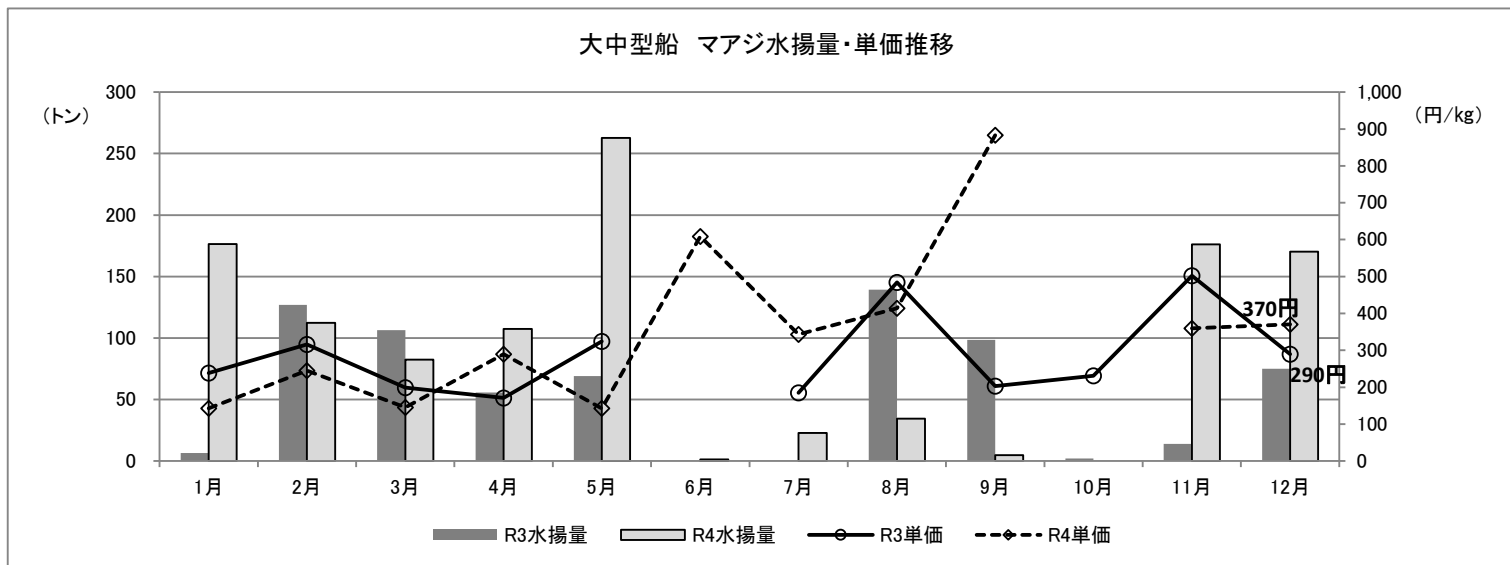
地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.5
産業経済部水産振興課



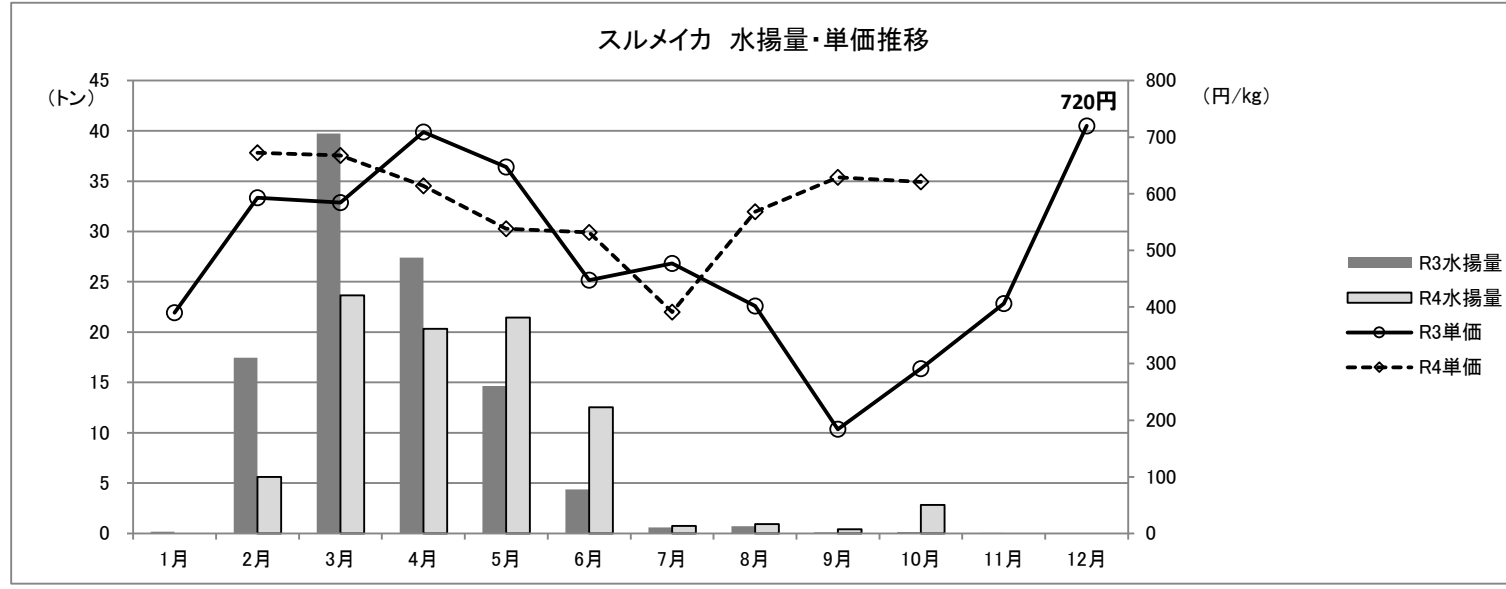
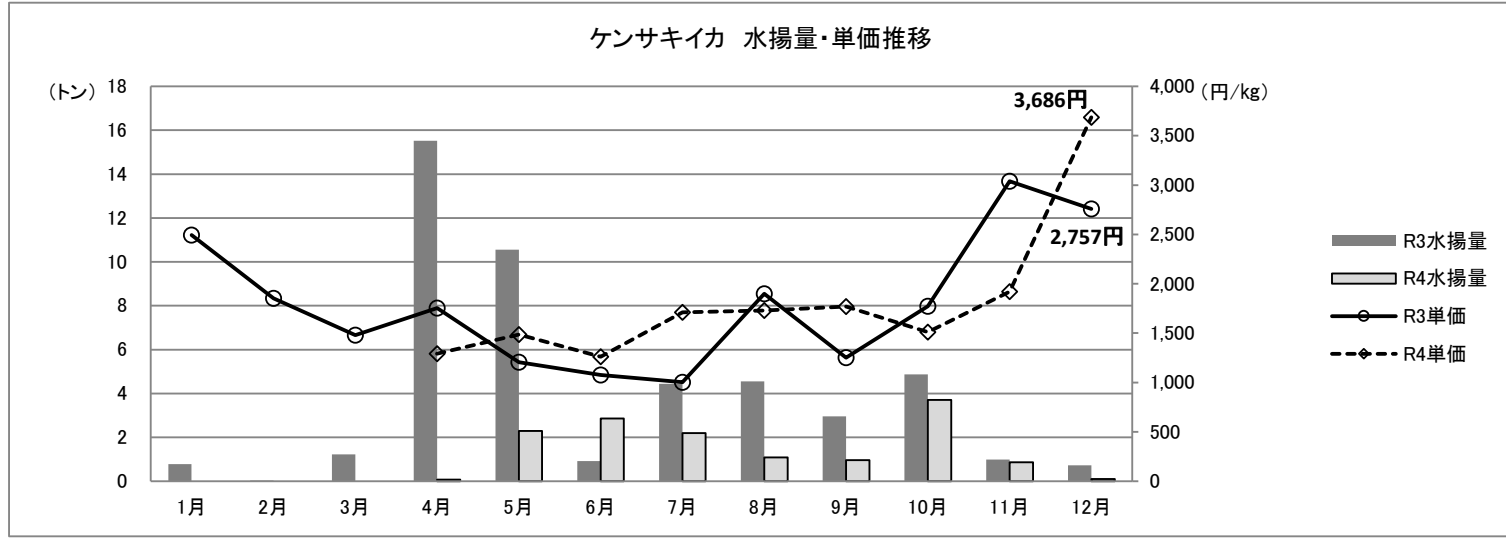
大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.6
産業経済部水産振興課



いか釣漁業（5t以上・5t未満） 主要魚種水揚量・単価の推移

令和5年1月26日
産業建設委員会資料No.7
産業経済部水産振興課



令和4年度 浜田市議会 産業建設委員会 行政視察行程表

時刻	〔1日目〕 1月31日 (火)	〔2日目〕 2月1日 (水)	〔3日目〕 2月2日 (木)
5:00	5:00 浜田市役所集合・出発 (マイクロバス)	【朝食】ホテル	【朝食】ホテル
7:00	7:00 出雲空港 到着 7:45 出雲空港 出発 ✈	7:30 ホテルロビー集合 チェックアウト 7:40 ホテル 出発 7:45 新鎌ヶ谷駅 到着	
8:00	✈ ✈ ✈	8:01~8:15 東武アーバンパークライン (乗り換え) 乗 8:25 船橋 JR総武線快速【乗換不要】	
9:00	9:05 東京羽田空港 到着 乗	JR内房線快速 乗 9:21 木更津駅 到着	
9:30	9:39 京急空港線エアポート急行 9:50 京急蒲田【乗換不要】 京急本線エアポート急行	ジャパンタクシー移動 乗 乗	
10:00	10:00 品川 到着 10:14 品川 出発 JR特急ときわ57号 乗 乗 10:50 柏駅到着 柏市議会さんの送迎車(移動)	★視察 (株式会社FRDジャパン:現地) 10:00 ~ 12:00 ・陸上養殖について	10:10 空港リムジンバス
11:00	乗 乗		
11:30	11:15 道の駅しようなん 【昼食約40分】 (道の駅併設の会議室に移動)		10:45 羽田空港第1ターミナル
12:00	★行政視察 (柏市議会) 12:00~13:30 ・アグリビジネスパーク事業について ・道の駅しようなん等の活用	ジャパンタクシー移動 乗 12:20 道の駅うまたの里 到着 【昼食 約40分】	羽田空港第1ターミナル 【昼食: 約60分】
13:00		★視察(道の駅うまたの里)13:10~13:15: ・道の駅の経営について	
13:30	柏市議会さんの送迎車(移動) 乗 乗		
14:00	14:00 柏駅 到着 14:12 東武アーバンパークライン急行 乗 14:23 新鎌ヶ谷駅 到着	乗 乗 14:30 ホテル着:チェックイン	14:05 羽田 → 出雲 15:35 ✈ ✈ ✈ ✈
14:30	14:55鎌ヶ谷市役所へ		✈ ✈ ✈
15:00	★行政視察 (鎌ヶ谷市議会) 15:00~17:00 ・果樹剪定枝等堆肥化事業について		15:35 出雲空港 到着 15:50 出雲空港 出発 (マイクロバス) 乗
15:30			乗 乗 乗
16:00		★木更津市議会事務局訪問 16:00~16:30 ・駅前庁舎視察	乗 乗 乗
16:30	鎌ヶ谷市議会さんの送迎車(移動) 乗		乗
17:00	17:00 ホテル着:チェックイン		18:00 浜田市役所 到着
17:30			
18:00	18:30 夕食	18:30 夕食	
19:00			
20:00			

産業建設委員会 行政視察 所感 ※2/6 (月) まで

(氏名)

① 柏市 (アグリビジネスパーク事業について)

- ・
- ・
- ・

② 鎌ヶ谷市町 (果樹剪定枝等堆肥化事業について)

- ・
- ・
- ・

③ 木更津市 (陸上養殖について)

- ・
- ・
- ・

④ 木更津市 (道の駅の経営について)

- ・
- ・
- ・

※「ですます調」ではなく、「である調」で記入してください。

※箇条書きで記入してください。

※2 ページ目に入っても結構です。

産業建設委員会 行政視察 報告書 ※2/6（月）まで

① 柏市（アグリビジネスパーク事業について）

（担当者氏名 _____）

■日時 令和5年1月31日（火） : ~ :

■場所 柏市「道の駅しょうなん」

■視察の目的（選定理由）

■視察先の概要

ホームページから抜粋するなどして記載してください。

■視察の内容（視察先の取組、事業内容等）

視察先の説明や、いただいた資料を参考に、視察内容を記載してください。

- ・
- ・
- ・

■質疑の内容

（質問）

（回答）

（質問）

（回答）

■各委員の所感

全委員から提出していただきます。（ここには入力不要です。）

産業建設委員会 行政視察 報告書 ※2/6（月）まで

② 鎌ヶ谷市（果樹剪定枝等堆肥化事業について）

（担当者氏名 _____）

■日時 令和5年1月31日（火） : ~ :

■場所 鎌ヶ谷市役所、

■視察の目的（選定理由）

■視察先の概要

ホームページから抜粋するなどして記載してください。

■視察の内容（視察先の取組、事業内容等）

視察先の説明や、いただいた資料を参考に、視察内容を記載してください。

- ・
- ・
- ・

■質疑の内容

（質問）

（回答）

（質問）

（回答）

■各委員の所感

全委員から提出していただきます。（ここには入力不要です。）

産業建設委員会 行政視察 報告書 ※2/6（月）まで

③ 木更津市（陸上養殖について）

（担当者氏名 ）

■日時 令和5年2月1日（水）10：00～：

■場所 株式会社FRD ジャパン木更津プラント

■視察の目的（選定理由）

■視察先の概要

ホームページから抜粋するなどして記載してください。

■視察の内容（視察先の取組、事業内容等）

視察先の説明や、いただいた資料を参考に、視察内容を記載してください。

- ・
- ・
- ・

■質疑の内容

（質問）

（回答）

（質問）

（回答）

■各委員の所感

全委員から提出していただきます。（ここには入力不要です。）

産業建設委員会 行政視察 報告書 ※2/6（月）まで

④ 木更津市（道の駅の経営について）

（担当者氏名 _____）

■日時 令和5年2月1日（水） : ~ :

■場所 木更津市「道の駅うまくたの里」

■視察の目的（選定理由）

■視察先の概要

ホームページから抜粋するなどして記載してください。

■視察の内容（視察先の取組、事業内容等）

視察先の説明や、いただいた資料を参考に、視察内容を記載してください。

- ・
- ・
- ・

■質疑の内容

（質問）

（回答）

（質問）

（回答）

■各委員の所感

全委員から提出していただきます。（ここには入力不要です。）

令和5年 月 日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

産業建設委員会委員長 川上 幾雄

委員派遣報告書

本委員会は、下記のとおり委員を派遣し、視察調査を終了したので報告します。

記

- 1 期間 令和5年1月31日（火）～2月2日（木）
- 2 視察先及び調査項目
 - (1) 千葉県柏市
 - ・アグリビジネスパーク事業について
 - (2) 千葉県鎌ケ谷市
 - ・果樹剪定枝等堆肥化事業について
 - (3) 千葉県木更津市
 - ・陸上養殖について
 - (4) 千葉県木更津市
 - ・道の駅の経営について
- 3 精算額 一人当たり〇〇円
- 4 派遣委員、同行者、事務局（合計7名）

委員 川上幾雄 田畑敬二 沖田真治 串崎利行 上野茂
布施賢司
事務局職員 大下貴子
- 5 調査の概要（視察の内容等）

別紙のとおり

産業建設委員会 行政視察報告

1 視察目的

2 視察先・視察（調査）事項など

(1) 柏市（アグリビジネスパーク事業について）

ア 日時 令和5年1月31日（火） : ~ :

イ 場所 柏市「道の駅 しょうなん」

ウ 選定理由

エ 視察先の概要（視察先の取組、事業内容等）

オ 質疑の内容

（質問）

（回答）

（質問）

（回答）

カ 各委員の所感

【川上委員長】

・

・

・

【田畑副委員長】

・

・

・

【沖田委員】

・

・

・

【串崎委員】

・

・

・

【上野委員】

・

・

・
【布施委員】

・
・
・

(2) 鎌ヶ谷市（果樹剪定枝等堆肥化事業について）

(3) 木更津市（陸上養殖について）

(4) 木更津市（道の駅の経営について）

3 委員会の考察（今後の取組に向けて）

(1) ○○について

(2) ○○について

《一日議会の課題の対応について》

●12/13の協議内容

- **イベントについて** 執行部からの内容を詳細に上げていただいたのでたくさんある。これをどのように発信しクリアしていくか。まずは発信者にお知らせし、今後も広く県内外から浜田市イベントに来ていただくよう、**さらなる情報発信を行っていただくよう、担当課を通じ関係機関へお願いします。** …(下記、所管事務調査の(4))
- **遊園地について** 緑地のようなものは実現可能な範囲ではないかと思われることから、今後、一般質問等で取り上げるなど、港オアシス関係で各種イベントに絡め、**にぎわい創出が考えられるよう執行部に働きかけていく。** …(下記、所管事務調査の(5))

●一昨年の一日議会の課題の対応状況（産業建設委員会取扱い分）

齋藤 晴子さん	城山登山口回りの整備
	<p>城山広場のツタが絡みついている現状を改善してほしい。家族で楽しめる目新しい遊具を設置しては。</p> <p>(対応) 産業建設委員会で協議する。 (対応先協議結果) 城山周辺整備は担当課が計画的に実施するよう働きかけます。</p>
平岡 瞬さん	浜田市でのリモートワーク(テレワーク)の推進について
	<p>地方創生の一環として地方に移住した場合に補助金を出す施策が新しく始まっている。テレワークやリモートワークの方が補助対象になった。浜田市でそういったことを今後やる予定があるのか。やっていただきたい。移住してもらえれば浜田市の税収が上がり、人口も増え、関係人口の増加も見込める。リモートワークで浜田に住んだまま仕事ができると若者に伝わると人口流出も抑えられるのでは。</p> <p>(対応) 雇用促進の視点から産業建設委員会で検討する。 (対応先協議結果) テレワークのできる都市部の企業とのマッチングができる体制の整備を進めるよう担当課に働きかけます。</p>

鮎川 義英さん	<p>駅前の岩多屋の跡を観光的、歴史文化的、教育的に貢献する場所に</p>
	<p>青川に簡単な釣り堀を作って広島家族連れを呼び込んで。岩多屋の跡地である浜田で一番目立つところには何か浜田市の役に立つ施設になってほしい。あのスペースに、学生と市民と教授が集まり、懇談できるような場所を、県立大学があるまちとしてはぜひほしい。また、先ほど高校生が言われた学習スペースにも利用できるかと思う。道の狭い箇所を拡張してほしい。</p> <p>(対応) 駅前開発の視点から産業建設委員会で協議する。 (対応先協議結果) 市の方針を見極めた上で駅前のにぎわい創出につなげるよう働きかけます。</p>
毛利 まつみさん	<p>人口減少・少子高齢化の浜田市 コロナ禍だからこそインターネット環境の整備が必要</p>
	<p>デジタル化が進みインターネット環境も整い、リモートで仕事ができるようになった。しかし田舎の暮らしは憧れだけでは行き詰まる。若い人たちが地方で働ける場とゆとりある子育て環境が必要と考える。ただ、自宅での仕事は孤立する可能性が大きいので、インターネット環境が整った仕事場が提供できれば、そこを利用したり自宅でしたりすることで、家族関係の構築、異業種の方との出会い、地元の方も利用すればなお交流が広がるのではないだろうか。企業を誘致して社員が家族で移住することも良い。</p> <p>(対応) 雇用促進の視点から産業建設委員会で検討する。 (その他対応結果) 浜田市高速情報通信基盤整備に併せて利用できる施設を見極め、活用の機会を創出するよう働きかけます。</p>

●12/13の所管事務調査について（一日議会での内容も含むため）

(1) ゆうひパーク浜田の状況及び今後の方針

- ・過去10年の決算書を提出してもらった。
それをもって、委員会としての方向性、案のようなものを出すのか。
- ・検討した結果を、商工労働課を通じ提案するのか。もしくは一般質問等で取り上げるのか。 → 委員間で協議

(2) 森林環境譲与税の使途について

- ・林業関係者との意見交換のための予備知識 → 継続不要（協議資料として活用）

(3) 宿泊施設の現状について

- ・美又温泉の保養施設についても改修または新設が必要と考えるため、市内観光施設の老朽化状況を確認したい。 → 継続不要（今後の資料として活用）

(4) 令和4年度 地域の魅力を発信するイベントの開催状況について

- ・一日議会の回答に添付してもらった。 → 継続不要
- ・広報の手段を関係団体等をお願いしていく。 → 協議
- ・他に広報の手段はないだろうか。（HP、SNSの他に） → 協議
- ・広域的に関連するイベントについては交互な情報交換を進める方策を検討する。

(5) 浜田漁港周辺の賑わい創出について

（水産振興課）

今年度から浜田港周辺エリア活性化イベント実行委員会をつくった。

将来に向けて漁港全体を有効活用できるイベントを関係団体と再度検討していく。

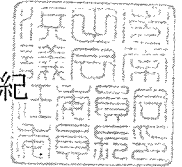
→ 執行部から上記のような回答があったことを受け、以下も含めた検討内容としてほしいことを伝えたので、継続不要

- ・バスの利用率について調査してもらった。利用率はよくない。
- ・第一ビルサービスに、高齢者サービスなどのイベントをしてもらい、行ってみようかという気づきに繋がるようにできないか。
- ・第一ビルサービスとタッグを組んで新しい行事を模索していただきたい

令和 5 年 1 月 23 日

産業建設委員会 御中

議会広報広聴委員会
委員長 三浦大紀



令和 3 年に開催したはまだ市民一日議会の対応について（お願い）

当委員会は、議会全体の広報及び広聴機能の充実を図ることを目的に活動しております。

先般、はまだ議会だより Vol.66（令和 4 年 9 月 1 日発行）の読者アンケートにおいて、令和 3 年度に開催したはまだ市民一日議会のその後の対応についての意見をいただきました。

発言者の皆様には、令和 3 年 10 月に郵送で産業建設委員会の対応を以下のとおり返答しましたが、改めて当時の対応状況をご確認いただき、必要に応じて再協議等のご対応をお願いいたします。

【1】

発言者 テーマ	斎藤 晴子 「城山登山口回りの整備」
議会の 対応	産業建設委員会で協議
対応経過 等	城山周辺整備は担当課が計画的に実施するよう働きかけます。



（裏面あり）

【2】

発言者 テーマ	平岡 瞬 「浜田市でのリモートワーク（テレワーク）の推進について」
議会の 対応	産業建設委員会で検討
対応経過 等	テレワークのできる都市部の企業とのマッチングができる体制の整備を進めるよう担当課に働きかけます。

【3】

発言者 テーマ	鮎川 義英 「駅前の岩多屋の跡を観光的、歴史文化的、教育的に貢献する場所に」
議会の 対応	産業建設委員会で協議
対応経過 等	市の方針を見極めた上で駅前にぎわい創出につなげるよう働きかけます。

【4】

発言者 テーマ	毛利 まつみ 「人口減少・少子高齢化の浜田市 コロナ禍だからこそインターネット環境の整備が必要」
議会の 対応	産業建設委員会で検討
対応経過 等	浜田市高速情報通信基盤整備に併せて利用できる施設を見極め、活用の機会を創出するよう働きかけます。

※全議員に係るものや担当が現在不在のものは、別紙一覧に掲載

発言者	テーマ	議会の対応
佐々木 玲慈	都市と人口をシェアするとい う浜田の形(浜田の地形・立 地・歴史に学ぶ)	各議員が今後の議会活動 に活かす
佐藤 仁	「すくすく」の跡地をボール が使える遊び場にしよう	使わなくなった市の施設 の有効活用、整備費用と 整備したことで得られる 効果も踏まえながら、自 治区制度等行財政改革推 進特別委員会で協議
植田 真代	人権教育としての性教育の重 要性	ご発言いただいた内容を テーマとする議員研修会 も行います。 また、議員が個人一般質 問でも取り上げます。
栗栖 真理	市民と市議会、そして子ども たちと共に、浜田市子ども条 例をつくろう！ ～子どもがあたり前に守られ る、子どもにやさしいまちを 目指して～	議員有志で積極的に検討
南條 達也	明日へつながる祭り（イベン ト）を企画したい	発言内容のようなことを 地元でやる方々をしっか りバックアップできるよ う、各議員が認識して今 後の議員活動を行う

農業関係の課題・問題点

●人材・後継者		備考
	○求人を出しても応募はなく人出不足な状況が続いている。 ・拡大したくても人手がない。	
	○新規就農者に力を入れていると感じるが、中核の農業者に対してもっと力を入れるべき。	
	○IターンよりUターンの方が定着する。その支援に力を。 ・新規農業者に農業だけで生活できることを示す手本が必要。 ・草刈ばかりでなく、いかに楽しんでやれるかの指導、支援。 ・地域の人と一緒に農業する事、地域を売る事が大事。	
	○雇用 ・ハローワークを通じての雇用は難しい。労働条件を確認して避けられる。 期間を2年から3年にすべき(理由: 稲作は年1度であり経験として3年は必要)。 ・親睦の機会を季節ごとに設けている。	
	○技能実習生を活用(タイ) ・20万円/月程度、決して安くはないが安定労働確保。	
●資材・機材・環境		
	○水稲における畦畔の草刈り…一番の問題点 ・草刈りロボット導入検討するが、かなり草刈り機で対応しないとイケない。 ・圃場整備を金城支所をお願いしている。 現在の農地は40年前に行われた区画、現在になじまない。 ・センチピードグラスは手がかかるので考えていない。 ・これからの水稲はスマート農業を取り入れる事が第一と考えている。 (水管理、草刈り、鳥獣対策) 特に草刈り作業軽減する支援策を。 ・規模拡大が先行すべき	
	○環境によってつくれる作物が違う(向き不向き) ・金城(波佐地区)は湿田であるため、麦作には向かない。病気になりやすい。 ・麦は米と比べ価格が5分の1。採算が合わないことなどから現実的には厳しい。	
	○圃場整備事業で水田を大区画したい ・スマート農業を取り入れたい ・大型機械の入る耕作地など規模拡大への支援が必要。	
	○施設や機械購入について、支援上限が200万円 ・農業関係の機械は高額 ・一律200万の補助でなく、規模に応じた支援が必要。 ・1000万円クラスの対応については、規模に応じて対応を願う。	
	○整備外圃場 ・圃場大規模化に取り残された残地の地元農業者との合同管理。	
	○ハウスについて ・更新は必要だが短期での更新ではない(良い管理で最長20年程度) ・新規増設は労働力及び管理面で困難 ・ハウスを使用した陸上養殖については多様なリスクが有り、現在でなく将来検討。	
●価格・売上・収入		
	○水稲を主に作っているが価格が低く採算に合わない状況。	
	○他の作物の作付 ・県の事業では、米の依存脱却のため、高収益作物を求められる、これについては、対応は厳しく感じる。	
	○農業だけで暮らしていくには厳しい。	
	○閑散期の売上確保の問題 ・金城のぶどう(ピオーネ等)を特産品として定着させる。 ・加工品を産直市やスーパーで販売拡大。 ・10品目の多種生産で通年生産(安定した労働環境の確保)。 ・ふるさと納税返礼品として(6~7セット/週)。	

○コストの高騰 ・都会地へ出荷する際の輸送コストやトラクタなど機械の燃料費、肥料など生産コストが高騰しているが商品に価格転嫁しにくい状況にある。	
○収穫時期が重なることで価格が下がる(獲れすぎ野菜の問題)。	
○規格外野菜 ・大きくなり過ぎた規格外の野菜はほとんど売れない。	
○販売方法 ・販売方法として、地元を売りにする方策・戦略を検討すべき。 ・アンテナを張って多様な情報収集が大切。	
●農業支援センター、関係機関	
○研修制度 ・研修期間が終了を迎えた後、農業で生計を立てていけるような仕組みが必要	
○圃場整備の条件 ・整備する条件が6品目の野菜をすることなどであり現実的ではない。	
○JAと行政「支援センター」との、連携が良くない。	
○農協の農に対する取組状況が不安 ・農協に施策を立ち上げる仕組みが必要。	
○農のプロ不在、県・市・農協のトライアングルが崩壊。	
○支援センターの場所 ・入り易い、相談がし易い環境にすべき(場所を本庁4階から農協黒川へ)。	
●市としてできること	
・水管理、草刈り、鳥獣対策。特に草刈り作業軽減する支援策を	
・研修制度	
・IターンよりUターンの支援に力を	
・市の農に対する取組(農林業支援センターの機能強化)	
・規格品外の利用ができる、6次産業化への支援。	
・ハウスや機械など更新ではなく修理への補助。	

漁業関係の課題・問題点

●人材・後継者	備考
○漁業は若者に魅力が無い、伝統漁法を伝えるべき若者がいない	
○後継者への支援がない	
●資材・機材・環境	
○魚が取れなくなった ・海が変わってきている	
○近くに造船所が無い。 ・新船を希望したが船を作ってくれるところがない	
○(海の状況で)海に出られない時が多い。自然が相手なので難しい。	
○船の買い替えをしないとけなが高額。	
●価格・売上・収入	
○遊漁船が増えている ・漁場を荒らす。対策が必要では。	
○収入が安定していないことが不安要素	
○漁業だけで暮らしていくには厳しい。 ・収入面が心配。 ・収益増の方策を探すことが必要…SNS を使った販売、販売車両の活用。 ・漁業コスト(燃油、発泡スチロール)など上昇。 ・魚価はコロナ禍で市場価格は低迷。 ・家族ぐるみでのI ターン生活はギリギリである。	
○魚価が安い ・売買の間に漁協があり、漁法による差別化が魚価に反映できない。 ・漁協が高く売る意識が無い。鮮度関係なく同一金額はおかしい。 ・自分で魚価が決められない。 ・販路を作り自分で売る。	
○研修後の収支予想(粗利益)が気になる。	
○ブランディング ・天然漁など大都市圏へのネット販売など付加価値が付くので利益を確保できると思う。	
○県外への販売へも挑戦したいが、ネットワークが無い	
●関係機関・関係者	
○研修制度 ・県の支援を受けているが、3年間後が心配である。	
○付加価値を付け、魚価を上げる対策が必要 ・魚価は漁法を反映したものにする必要がある。 ・漁協が高く競る意識がない(努力した成果が出ない)	
○横の連絡、話ができる体制が必要 ・コミュニケーションが取れず孤立 ・相談者がいない ・間を取り持つ人材の育成 ・ルールがわからない	
○Iターン同士のつながりが欲しい話し合える仲間・相談する人が欲しい ・子どもが小さいとパートナーへの負担が大きい ・慣れない生活環境への対応	
○農業は補助が多いが、漁業は少ない。	
○ルールがわからない	

●市としてできること

・半魚半×したい。支援策が欲しい。	
・漁業者間のネットワーク構築、中間マネジメントする人材の育成。	
・移住者への支援	
・魚食人口の減少を問題視し魚の食べ方を広める方策	
・チャレンジする機会の施策	
・UI ターンの支援だけでなく、後継者の支援があると嬉しい。	
・副業のための期間雇用や仕事支援。	

林業関係の課題・問題点

●人材・後継者	備考
○人材の確保が難しい。 ・地域の課題として取り組むべき。 ・雇用にあたり地域おこし協力隊制度の活用。 ・雇用には空家を改修整備して活用。 ・人材を育成するに匠塾のような制度が必要。	
○人材育成について市への要望…林業研修制度 ・山容に沿った高機能機械の運転など。 ・年少より山への興味を抱かせる。	
○資機材の確保と高性能機械オペレーターの育成 ・資機材の充実を図るだけでなく、資機材を十分に使いこなせる人材の育成も必要。	
○事業承継について ・後継者を考えていない。 ・一次産業のイメージアップ …周辺にある森林が多様な面で環境に貢献していることを受け止める教育と誇りの育成。 林業体験(アイデア次第)。 ・産業として成り立つことを学ぶ。	
○作業員の高齢化 ・次世代を担う若者の参加できる環境が必要。	
●資材・機材・環境	
○資源はある(森林の70%は広葉樹)	
○獣害 ・植栽した苗木の獣害が課題となっている。有効な対策、捕植への補助金などが必要。 (樹種により差が有る)	
○機材の不足 ・現場に行く車と機械が不足していることから道路沿いの森林しか伐採が進まない。 効率的な道路整備と資機材の充実が必要である。 ・高性能機械や作業車等は高額。	
○森林の放置 ・木材価格が安いため放置されており植栽が進んでいない。 現状で1ha伐採しても半分も植栽が行われていない状態であり、先々のことを危惧している。	
○林道の整備 ・奥部は伐採後の運搬ができない。	
●会社の経営努力	
○Jクレジット ・温室効果ガスの排出削減や吸収量をクレジットとして国が認証する制度を活用して業種間連携を生み出し、多様な面で費用を活かす必要がある。林業従事者の収入確保。 (一般企業からの投資を活用して人材育成や高効率な機械導入)	
○工法の工夫 ・伐採、運搬について環境破壊とならない工法が必要。 山腹部への林道が災害を誘発する。山頂部の運搬路・ケーブルの活用を。	
○市内の広葉樹を活用して六次産業化を	
○所有者への対応 ・所有者の地積不明や所有者不明地への対応。 ・森林所有者への森林再生の大切さを見える形で示し理解を求める。 相談日や窓口の設置(既があれば、広報の徹底を)。	
○林業経営の健全化 ・現在は補助金漬け状態であり将来性がない。自立を目指す。	
○現在の円安やカーボンニュートラルなど林業も将来性はあるように思っている。	

○オンリーワン製品 ・戦略を組み立てられる人材やデザイナーの不足(ECサイト)。 ・木工職人の育成。	
○6次産業化 ・山林の70%を占める広葉樹林で6次産業化。 ・他企業との一体化や効率化は取り組む営業活動・運営による。	
○仕事のイメージ ・きついイメージがあるので仕事のPRをしイメージアップ。	
○収入 ・林業での収入300万～400万位確保できるようにしたい。	
○地元が地元の仕事をするべき。 ・きれいな仕事を心掛ける。やった後知らん顔はしない。	
●市としてできること	
・ビジョンやそれを成し遂げる道筋や方法を提示。	
・伐採後の再生林・捕植への理解と補助。(伐採⇒0.5～0.2の再生林)	
・林業研修制度(林業研修・林業体験「自然にふれあう」等)	
・高性能機械や作業車等の買い換え時の補助、修理補助	
・空き家の改修(水洗、冷暖房は必修条件)	
・急傾斜地等における架線集材への支援	